

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	令和2年度第2回西脇市就学前教育・保育の質の向上推進委員会
開催日時	令和2年8月31日(月) 午後3時～5時
開催場所	西脇市生涯学習まちづくりセンター
出席委員の氏名又は人数（敬称略）	瀧川光治、鈴木正敏、松尾寛子、閑念勝代、古家幹也
欠席委員の氏名又は人数（敬称略）	—
出席職員の職・氏名又は人数	教育長 笹倉邦好 教育部長 森脇達也 幼保連携課長 正木万貴子 幼保連携課主査 藤原敬章 幼保連携課（幼児教育センター）藤原幸恵 幼保連携課（幼児教育センター）前田玲佳 学校教育課教育研究室主幹兼室長 衣川正昭
公開・非公開の別	非公開
非公開の理由	個人情報に配慮するため
協議又は協議事項	今年度の就学前教育推進事業の変更部分について (1) 今年度のスケジュールについて (2) 12月の視察訪問について (3) 『自己評価』資料提出について
会議の記録	
発言者	内 容
事務局	1 開会 委員の出席は5名 (資料確認)
教育長	2 あいさつ
事務局	～しばざくら幼稚園閉園までの具体的な方向性について報告～ ・基本方針を一部変更し、閉園まで複数年教育の継続決定までの経緯と議論の内容を報告 ・今後の計画と方向性について説明

委員長	<p>幼児教育センターは、幼稚園閉園後10年を目途として令和14年度に閉所予定とのことですが、その後公的な意味で就学前教育・保育施設への支援というのは、教育委員会の中の幼保連携課でされていくという理解でよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>教育委員会として行っていく予定です。 この後の進行は、委員長にお願いいたします。</p>
委員長	<p>3 今年度の就学前教育推進事業の変更部分について (1) 今年度のスケジュールについて 事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>5月に実施した第1回委員会では、新型コロナウイルスの第2波が来ていないという前提で協議をいただきました。6月のこども園長会で各園長に視察訪問・自己評価の実施を依頼したところ、5月31日まで登園自粛があり、園が再開したばかりという中で実施するのは厳しく、不安である声が多くありましたので、第1回視察訪問を中止させていただきました。その代替として、幼児教育センターの現場訪問等を行いましたので、状況を含めて報告します。</p> <p>～今年度のスケジュールについて～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 令和2年度1年間のスケジュール（変更） ・現場訪問での助言内容や園内研修の様子を報告
委員長	<p>12月に訪問するののかという検討もしていけないといけませんが、まず今後を考えた時に、資料提出と自己評価をどうしていくのか、スケジュールの流れはこれでいいのか等意見をお願いします。</p>
委員	<p>まず、視察訪問ができるかできないかでかなり変わってくると思います。現在近隣市町はコロナがほぼない状態で少し落ち着きつつありここ1～2ヶ月は大丈夫だろうと思いますが、視察訪問の12月の予想がつかないのが厳しいと思います。</p>
委員	<p>スケジュールだけで考えず、まとめて協議させていただいてよろしいですか。 (2) 12月の視察訪問について</p>

事務局	<p>事務局から説明をお願いします。</p> <p>～12月の視察訪問について説明～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視察訪問の方法（教育・保育部分）について ・特別支援の訪問や助言方法について ・小学校関係者の参観について
委員長	<p>今の説明の中で、訪問を行うのか、リモート面談で行うのかというあたりで一つの課題になってくると思います。実施方法について委員の意見をいただきたいと思います。</p>
委員	<p>リモートで面談・評価するのは厳しいと思います。実際に園に行き、保育者の子どもとのかかわり方や保育室の環境等を見せていただいてお話をさせていただかないと分からないと思っております。</p>
委員	<p>特別支援につきましては、リモートのやり方があまり分かっていないですが、その子の状態や困り感によって、担任との面談が必要な子、実際にお子さんを見てお話ししたい子、相談と現場の様子で作品や環境を見たい子等があり、できる場合もあるかもしれませんが、調整も含めて難しく感じます。</p>
委員	<p>リモートは私も難しいと思います。訪問につきましても、昨年度は2回の訪問の中で全園訪問できましたが、1回の訪問になるとどうしても行けない園があり、報告書をどう書いたらいいのか非常に頭をかかえているところです。</p> <p>また、小学校関係者の参観ですが、コロナがなければこの夏休みに、教職員が一度は自分の校区の園を観る予定にしておりましたが、夏休みも随分短くなってできておりません。やはり訪問させていただく値打ちの一つは、園長先生や担任の先生との情報交換だと思いますが、1回しかない訪問の中で行うとなると、園も大変かなと思います。観せていただくのは小学校の教師にとって、園を知る上で大変大事なことですが、もう一方で、進学に対してのフォローや準備という点では、進学先の名簿をいただいたり、支援がいる子については別日をとって様子を観たり、情報交換をしたりというのが1番いい形かなと思います。</p>

<p>委員</p>	<p>まず、リモートは難しく、評価するのはさらに難しく感じます。子ども達のやりとり、保育のプロセスや質を見るためには、現場を見るというのが非常に重要であると考えますので、今年度に関しては、コロナが再燃するかもしれない中、評価自体が難しいと思います。ただ、園のつながりとか、この評価のプロセス自体は継続した方がいいと思うので、モチベーションを上げるのが1番いいと思います。改善しようとか、変わろうとか、何かできないかなというところは、もち続けることは非常に重要であると思いますので、そこを保ちつつ、園には無理をかけないとか、やってもあまり効果がないのにやっているというのはいかがかなと思います。</p> <p>他の自治体を参考にしてもらおうと、三木市でも今月から1回目の訪問を始める予定が中止になり、2回の訪問ができないのであれば今年度の評価は難しいのではないかと判断されているようです。検討中にはありますが、三木市の方針としては、質の向上のために訪問するのであって、評価をすることが目的ではない。園や先生方の質が上がるように、みんなが上を向くようにいろいろなアイデアを出し合い、みんなで作っていくような評価という雰囲気です。今回1回目の訪問が中止となり、1回目から2回目はこう改善したということができずに、1回だけで結果が出るというのは良くないのではないかと、評価すること自体が意味をなさないのではないかとというような議論になっています。西脇市も、1回のみでの訪問で報告書を書くというのは、特にリモートの場合非常に難しいので、今回歩みは止めないけれど、評価として結論を出すというのは控えた方がいいと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>三木市の情報もいただきましたが、基本的には評価のサイクルを回し続ける、自己評価の歩みは止めてはいけないと思います。しかしながら、自己評価を行い、報告書としてまとめていくにあたってのプロセスの中で、1回の訪問で判断するのが適切かどうかということになると思います。その一方で市、教育委員会として何らかの今年度の実績や報告は必要だと思いますので、何か手立ては考えておかなければならないと思います。少なくともリモート実施では難しく、可能であれば園に訪問した方がいいだろうと思います。ただ12月の中旬、下旬辺りが訪問になりますので、状況によって中止・実施の判断をせざるをえないだろうと。私自身が大阪に住んでいるので他都市との行き来は控えるようにと言われる可能性もあります</p>

	<p>し、また、園に訪問した時に、保護者の方々が外部の方が入ることに理解してくださっているか、訪問させていただく側としてはいろいろ気が引けるところがあります。</p> <p>改めて12月の訪問をどうするかというところで、消去法でいくとリモートはやめる。報告書は実施しないということによろしいでしょうか。委員の意見をいただきたいと思います。</p> <p>委員 今年度、自己評価の実施・結論を出すのはやめてはどうかというのが私の提案です。評価に関しては、園の方が構えていて、やるからにはあれもこれもしなきゃいけないというプレッシャーのもと、さらにコロナへの対応がある。非常にしんどいと思います。</p> <p>一方で、この子へのかかわりはどうしたらいいのだろう等、保育の中で困っていることに対して、手を差し伸べたいと思います。小学校とは、状況の把握・連絡会・電話等できる道はしっかり残した上で、評価とは関係ないけれど小学校接続への支援や小学校との接続が継続していけるような代替のものが需要であると思います。ワクチンの開発もしばらく後ですので、来年度以降にならないと、評価に前向きにはなれないでしょう。</p> <p>委員長 評価をする・報告をまとめるということを目的とするのではなく訪問する目的自体がその園にとってよりプラスになる形で、改善のサイクルがまわるようにサポートするという形ではどうかということに集約されると思いますが、このあたりに関して事務局としてはどうでしょうか。</p> <p>事務局 ご意見の通りだと思います。それで進めたいと思います。</p> <p>委員長 ではそのような方向性で行かせていただこうと思います。基本的には12月は予定通り訪問するという方向性、ただしあまりにもコロナがひどい状況であればその場で中止する。ただし中止してしまうと園に助言できる機会がなくなってしまうので、その時にはリモートで困りごと相談会のような形を実施するというのはいかがでしょうか。(異議なし)</p> <p>事務局 報告書ではない形でまとめということですが、何か良い案があればと思います。</p>
--	---

委員	今回1回しか訪問していかないということであれば、各園に対する評価というよりは、全体でまとめて出すという形でどうかと思います。
委員長	総合的な視点からということでしょうかということですね。
委員	全体として、Withコロナの時代に、どんな風に保育がされてきたかということ報告できるような形です。ある園はこんなことをしていて、ある園はこんなことをしているというのを、全体でまとめられたらいいと思います。多分保護者の方もどうなっているのだろうという心配があると思うのです。自分の園だけでなく、他の市内の園はどんな状況なのか等いろいろと出てくると思うので、それを含めて、今年度こんな風に進み、きちんと教育・保育の保証ができましたよと安心していただくのを目的にしたらいいいという風に思います。自己評価も園の方から頑張っているところを出していただくのが良いと思います。
委員	全体で困っているところとか、関係機関との連携の仕方や案内も含めて特別支援の事例等ができればと思います。
委員	昨年見せていただいて、こども園というのは特色があり同じことがなされていないですね。良いところを見つけようということで、この園ではこんなすばらしい取組されていますということをもとめたいかがでしょうか。
委員長	意見から、まずは従来の自己評価の様式でない方がいい。Withコロナの時代の中で、各園がいろいろな取組を工夫し、配慮しているが、なかなか市民や保護者には伝わりにくいところや分からない部分もある。そこを浮き彫りにし、保育の質を高めるために行っていることを全体的に、俯瞰的に整備していく必要があると思います。その一方で、各園としての取組や特色という部分では、12月の訪問で園から何らかの様式を出していただき、それに対してコメントを返すというような形でフィードバックし、全体の報告書の中に参考資料的に載せていったらいいと感じました。
事務局	園発信のものがあって、それに委員からコメントするような形で

<p>委員長</p>	<p>すね。</p> <p>今年度はこんなことを頑張っている・意識しているというのは、1回の訪問では分かりにくいので、園発信でいただければと思います。それを踏まえて当日訪問させていただく中で、委員がブラッシュアップしていき、まとめていくことができると思います。</p> <p>(3) 『自己評価』資料提出について 事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>～『自己評価』資料提出について説明～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料2 自己評価質問様式（保育内容について）（支援の必要な幼児に対して） ・資料3 令和2年度西脇市就学前教育推進事業自己評価表
<p>委員長</p>	<p>資料2はそのまま使えるのではないかという意見だと思います。資料3は評価しにくい項目もあるので、このままでいいのかどうか項目を削るかどう等、資料3のあり方自体をどうするか、いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>「保幼小の連携」の項目2園児と児童との交流ですが、今年度コロナが広まってきた段階で運動会や音楽会等での交流は中止、体験入園のみです。どの園や小学校でも、本当に必要最小限のことだけをしたいと思いますので、評価がしにくい、この時期ではできないというものが出てきそうな気がします。</p>
<p>委員</p>	<p>自己評価の項目を見たらゼロ回答しか仕方がないところもあるので、それをあらかじめ削っておくのか、それとも、例えば「保幼小の連携」についてできたこと、頑張ったところを記入する方がいいのかもしれませんが。最低限だと思うのは、「教育・保育内容」の養護はコロナ対策でいっぱいだと思うのです。生命の保持と不安を軽減するための情緒の安定みたいなのところがあり、コロナ対策で一番工夫された面です。ただ、子どもの育ちとして5領域というのがあるのですが、コロナ禍でも、こんなところを頑張りましたというのを各年齢で記入していただけたらと思います。</p> <p>「安全管理・防災教育」もコロナ一色、「家庭・地域との連携」</p>

	<p>はなかなか難しい、「職員の資質の向上」は、園によって、参加できた、いやそれどころじゃなかった等あるので項目を全部答えるのは難しいと思います。書けるところを書く感じでやっていただければいいです。ただ、「特別支援教育」と「保幼小の連携」に関しては記入が必要だと思います。自己評価の様式には、大項目を引き継ぎつつ、この中で書けるところを記入する。0歳児から5歳児については①養護、特にコロナ対策で努力したところ、②子どもの育ちでどんなふうに保育したかというところを記入してはと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>昨年度にはなかった毎日の消毒作業やソーシャルディスタンスを考えた保育内容、加えてマスクをつけた保育という体力的なしんどさ等、今までやってきたことがない状況での保育は、随分負担だと思っています。しかしながら、保育はただ預かるだけではなく、教育・保育という部分を十分に、子ども達の育ちを考えて保育をしていくというところは変わらないと思います。先生方の負担が増えているけれども、保育の内容を充実していくということを考えると園が何も書かずに、訪問するだけというのは少し違うと思います。ただ、書式をそのまま使うとなれば、昨年度も多分意見として出ていたと思いますが、記入に負担がある園もあるようですので、それを少し軽減した形で先生方に頑張ってきたところを記入いただくのが良いのではと思いました。</p>
<p>委員</p>	<p>特別支援の面でも、どういう工夫をした、意識したこと、取り組めたこと、頑張ることができたこと等を教えていただき、それをもとに一緒に考えていけたらと思います。項目については、このままだと難しいところもあると思うのですが、ベースはここだと思うので、実質難しいから変えた、意識してやろうとしたけど難しかったのも含めて、残しておくのがいいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>他の委員から出ておりますように、項目の中からこういうことを頑張りましたという記入でいいと思います。記入できないところもあると思いますが、この委員会の趣旨としましても、前向きに今ここを一生懸命やっているところを記入するのがいいと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>改めて12月の訪問にあたって、園に記入いただくということが一</p>

	<p>つの方向性と思います。そして中身としては、項目の中で特に頑張ったところを中心に記入。養護と教育という側面から考え、養護は特に気をつけた面、教育・保育の部分は5領域について意識・頑張って取り組んだ面を記入でよいと思います。それ以外の全体のこととしては、最初から削除しておく、もしくは斜め線を入れるというような形がいいと思います。というのも、来年度は、元の様式で行うので、完全に削ってしまうと昨年と様式が変わったとなるので、斜め線等で消してはと思います。</p> <p>次に、「前期実施状況」「取組の状況」「後期に向けての取組の方策」「後期実施状況」「次年度に向けての取組の方策」と大きく5つありますが、そもそも2回訪問することを想定したものなので、変更が必要であろう。例えば、「(前期)実施状況」と「取組の状況」は書く。それを受けて訪問。訪問が12月ですので、「後期に向けての取組の方策」はなく、「次年度に向けての取組の方策」でいいと思います。評価基準としてのABCDということを入れるかどうかですが、私個人の意見としては、ABCDではなく、意識していることや記入した項目に対し「(前期)実施状況」に○印を入れる、というのが良いと思います。</p>
委員	<p>様式の変更は大変なので、このように「前期実施状況」「後期に向けての取組の方策」取り消し線にする。もしくは斜め線で消す。ABCDはそぐわないので、頑張った、意識したところに○を記入すると思います。明らかにできない内容、先ほどの「保幼小の連携」で園児と児童の交流やと、無理なところは消すけれど見える形で残しておくという対応でいいと思います。他の内容は、各園で判断していただいてもいいと思うのですが、明らかなものは消しておいていいと思います。「実施状況」と「取組の状況」と「次年度に向けての取組の方策」の3つの欄が残っていればいい。小学校との連携でも交流はできませんが、教師間の情報交換や電話、リモート等工夫して頑張りましたというのが出てきたら嬉しいと思います。</p>
委員	<p>例年の評価のABCDが今年できないというのは、園の努力不足ではなくコロナの影響なので委員長が提案された形がいいと思います。「実施状況」として意識されたところに○印を、そして「取組の状況」を文章で記入するのが良いと思います。</p>

委員	私も同じ意見です。何か少しでも工夫したことを記入いただけると嬉しいと思います。
委員長	では、意見が統一できたと思います。あと一つ関連して、前回の会議で、書き方事例集（年齢別）が参考があれば、園として書きやすいかなと。ただ、きちんとした文章を書こうとすると負担感が大きくなると思いますので、モデルという形で提案するけれど、自分の記入しやすい書き方で大丈夫と伝えるのが今年度はいいと思います。資料3の変更について、事務局はいかがですか。
事務局	資料3を修正し、各委員に確認をいただくことでお願いします。
委員長	4 その他 事務局から説明をお願いします。
事務局	～その他 説明～ ・資料4 令和2年度西脇市就学前教育・保育の質の向上推進委員会報告書（案） ・資料5 自己評価 訪問アンケート（案）
委員長	委員から、アンケート案の中で、この項目について質問や、そもそもこのアンケートが必要なのかというところで意見いただければと思います。 私からは、1月12日締切が妥当なのかというのが一つあると思います。何故かと言うと、12月に訪問するかどうか、オンラインも含めて今の状況では確定しづらい要素があると思っています。 そして、今年度の訪問が「自己評価」という名称のもとで訪問させていただくのかどうかも考えどころです。その一方で、それぞれの先生方にとっては、今回訪問したことに意味があったのかどうかを探るという点ではアンケートは必要ですし、何らかの形で行った方がよいだらうと私は感じております。
委員	そもそも訪問できるかどうかわからない状態でこれを考えるのもどうかと思いますが、今回どんな訪問をできたかの結果次第でアンケートの文言や締切も変わると思いますし、やってみてからだと思います。アンケートどころではない場合もあるでしょう。今できる

	<p>こととすれば、訪問の場合、リモートの場合、訪問がそもそもできなかった場合、それに応じて項目をある程度考えておくことかな。実際この事業をしてどうでしたかということは、教育委員会としては必要だと思いますので、状況を見て12月終わってから考える。そこは委員長と事務局の方で判断いただければいいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
委員長	<p>12月の実施状況を踏まえてということで最終判断させていただければと思います。ただ1点追加ですが、現場の先生方の生の声をもっと拾おうと思えば、紙ベースでメールやファックスでということよりも、Googleフォームの様な形の方がリアルな声は聞けるだろうと思います。ただこれは、次年度以降の課題としてもいいと思います。</p> <p>それでは、以上で本日予定していました協議事項を終了します。委員には円滑な運営にご協力いただきありがとうございました。</p>
事務局	<p>5 次回開催予定</p> <p>瀧川委員長、委員の皆様ありがとうございました。次回の会議の予定ですが、コロナの状況にもよりますが、1月22日（金）午前9時30分から予定しております。12月の視察訪問を踏まえて各園の取組状況等について協議いただきたいと考えています。</p> <p>閉会の前に教育部長よりご挨拶を申し上げます。</p>
部 長	<p>あいさつ</p>
事務局	<p>6 閉会</p> <p>以上をもって、本日の会議を終了します。</p>